

特集雑誌

# 自由国民

自由国民・第一八五号  
昭和卅九年六月一日発行  
昭和卅五年十一月八日国鉄  
特別扱承認雑誌九二九号

## 特別号

6

自由国民社  
発行

# 現代用語 の基礎知識

時代の鼓動を伝える 新語 外来語年鑑

## '64年増補版

上坂西三	近藤康男	山口茂	鈴木武雄	山田秀雄	長洲一	高島善哉	高木忽吉	高木信成	鷓飼信成	辻清明	中村哲	横田喜三郎	<b>時局用語</b>	分担執筆	権威63氏	各分野の	
山城章	野田全治	大河内一男	大友福夫	宮川実	高桑純夫	岸本英夫	宮原誠一	戸川行男	林健太郎	西岡虎之助	辻村太郎	江上波夫	本多顕彰	今泉篤男	吉田秀和	山田肇	
織田幹雄	神田順治	服部良一	吉川義雄	清家清	氏家寿子	平井信義	黒田初子	マダムマサコ	山野愛子	渡辺義雄	木村義雄	高川義格	桑田忠親	福田蘭童	野村正七	吉田健一	浅野義光
科学用語	辻二郎	茅誠司	藤岡由夫	朝比奈貞一	湯浅明	高橋吉定	杉靖三郎	宮木高明	萩原雄祐	竹内端夫	和達清夫	<b>日常用語</b>	大宅壮一	城戸又一	安藤和雄	春日由三	津村秀夫

### 週休二日制 一週二日の定

休日が制度化されること。連休制ともいわれ、通常、土曜と日曜の両日、就労しない。米国など先進国では普及している。労働時間短縮のかけ声で、わが国でも実施が考慮されているが、実情はなかなか困難で、半歩前進の隔週連休制がようやく出はじめたというところ。これは一週間おきに週休二日制をとるものである。ただし、その場合でも肝心の時間短縮はあまりなされず、埋め合わせに労働日の就労時間を多少延長するというものもある。

**三六協定** 労働基準法第三六条に基づく超過勤務協定。労働基準法では一日の労働時間を八時間、週四八時間労働を原則としているが、この制限を越えて労働時間を延長するばあいには、使用者は労働組合などと書面による協定を結び、労働基準監督署に届け出なければならぬことになっている。

**一般組合 (general union)** 各種の職業や産業に分散する労働者を単一の組織にまとめた組合。職能別組合や産業別組合と対比される。主として不熟練の雑多な労働者を対象とし、だれ

でも加入しやすいという利点がある。英国には有力な一般組合が三つあるが、日本では普及していない。

**DGB (デーゲーバー Deutscher Gewerkschaftsbund)** ドイツ労働総同盟。西独の代表的労組中央団体(組合員二〇〇万人)で、国際自由労連に加盟、米国のAFL-CIOや英国のTUCと並ぶ自由陣営の有力な労働組合である。現在のDGBは戦後組織されたもの。経営参加方式を推進したことで知られ、EECの運営にも大きな発言力をもつ。なお東独にはFDGB(自由ドイツ労働総同盟、世界労連加盟)がある。

**労災保険法** 労働者の業務上の負傷、疾病、廃疾、死亡な(別項参照)。厚生年金の保険料

どの事故発生にさいし、国が保険給付により補償する制度で、正しくは労働者災害補償保険法という。労働基準法第八章の原則規定を受けて、昭和二十二年制定。健康保険法の特別法ともいえる。労働者の業務上の災害には使用者が責任を負うことを各国とも認めているが、その過大負担を軽減し、かつ補償の確実を期するために、労災保険の経営も国家が行なっている。補償適用に当たっては、「業務上」

こうむった災害かどうかの認定が重要視され、災害の内容により、段階的な保険給付額が行なわれる。

**調整年金** 厚生年金保険に肩代わりを認められた企業年金(別項参照)。厚生年金の保険料

や保険金額は、基本的な定額部分と、給料に依じた報酬比例部分とによって決められ、企業と従業員が保険料を分担する。一方企業は独自の年金制度を実施するところが多くなり、公的年金と私的年金との調整が必要になってきたためのもの。厚生年金保険法を改正して、昭和三十九年度から実施する。

**母子福祉法** 母子家庭の生活安定に必要な措置を講じた法律。昭和二十九年四月一日施行。都道府県は母子家庭に対し、学童の就学、就業、母親の技能修得に必要な福祉資金を貸し付け、公共施設の売店、公営住宅の供給、就職などのばあい、母子家庭に特別の配慮を払わねばならぬこと、などを決めている。

とする単元を教えるというものの。広範囲の単元を含む科目(社会科など)で顕著な効果がある。各教師の能力を有機的に結合し、ティーチング・マシンや教材の機能を十分に發揮させ、教育の能率を上げようというのがねらい。日本でも二、三の小学

# 文化用語

〔一九六四年 昭和三十九年〕

## 教育

### 道徳の指導資料

小、中学校における道徳教育の方向を示す文部省の教師用指導資料。昭和三十九年二月一日、教科書出版会社の参考資料として発表された。愛国心、人命尊重、公德

### チーム・ティーチング

米国で考案された学習指導法。数クラスの生徒を一カ所に集め、教師がグループを作ってそれぞれが得意



手足が節くれ立ち、骨がもろくなり、皮膚が弾力性を失なう。重症では骨格がゆがむ。原因は飲料水中の水溶性有機酸が軟骨の形成に必要なホルモンを欠乏させるからだという。予防は飲料水を煮沸することである。日本では千葉大滝沢延次郎教授が研究している。

#### 四日市ぜんそく 大気汚染

による公害の一つ。四日市(三重)は最近、コンビナートの所在地として脚光を浴びてきたところ。工場から排出される煤煙その他が原因となって住民の間にぜんそく症状の発生がみられた。一般にけいれん性の呼吸困難な症状をいい、その大部分はアレルギー性のものである。

#### オープン病院 町の開業医

に、ベッドや器械、手術室、検査設備、看護婦その他の機能を開放する病院。欧米では広く普及している。診療の一貫性、医師の技術向上、器械などに対する投資の節減など利点がある。

#### 宇宙・気象

#### エレクトロン衛星 (Electron)

一九六四年一月三十日、ソ連が打ち上げた科学観測衛星。一つのロケットで、1、2号を

打ち上げ、1号は最終段ロケットがまだ燃焼中に切り離すという離れわざで、地上四〇六一七二〇〇キの軌道にそれぞれのせいた。周期は1号が二時間四九分、2号は二二時間四〇分。傾斜角度はともに六一度。五つの電波にのせて内外放射線帯に関する情報を送信する。

#### ゾンダー1号 (Zond 1)

一九六四年四月二日にソ連が打ち上げた自動観測ステーション。ゾンドは探針の意味。六月二十日に地球に最接近する金星への位置で、ステーションからは宇宙ロケットが発射され、予定に近い軌道に乗った。金星到達までに三カ月前後かかる。

#### リレー2号 (Relay 2)

日米テレビ中継初実験に成功した同1号につぐもの。リレー1Bともいう。一九六四年一月二十一

日デルタ・ロケットで遠地点七三六〇、近地点二二二〇キの軌道にのった。目的は通信衛星の寿命判定。同衛星軌道は円に近いとされ、東京オリンピックのテレビ中継に利用できる。日本側では期待したが、軌道要素からみてまったく役立たないことになった。

#### エコー2号 (Echo 2)

一九六四年一月二十五日に南北両極に近い軌道にのせられた米国の受動式通信衛星。直径四一、全重二四〇キの巨大な風船で、表面はアルミメッキした薄いプラスチック。遠地点一三〇〇キ、近地点一〇〇〇キ。赤道との傾斜角八一・五度。周期一一一分。この衛星を利用し、英ジョドレルバンク天文台とソ連ゴリキー大学ジャメンキ天文台との間で電波送受実験を計画、初の東西宇宙開発の協力がなされた。

#### レインジャー9号 (Ranger)

一九六四年一月二十一

米国の月ロケット。レインジャーは遊撃隊の意味。一九六一年八月二十三日以来、六四年一月三十一日の6号まで、すべて失敗に終わったが、技術的には徐々に前進の跡がみられる。月(裏側)に命中したのは3号と6号。6号はテレビ・カメラ6台をのせ、月表面上一六〇〇キから写真を撮り、送信の予定だったが、通信が途絶え、予定地点から二〇キずれて命中。全重三七〇キ、高さ三・三ミ、底部径一・五ミのやぐら型。

#### IOSY (International Quiet Sun Year)

静太陽国際観測年) 一九六一年の国際学術連合第九回総会で決まったもので、六四年一月から六五年十二月までの二年間が観測年である。太陽活動極小期における地磁気、極光、夜光、電離層、宇宙線、気象、太陽活動などを国際協力によって学術調査する。

## 日常用語

〔一九六四年 昭和三十九年〕



#### 社会風俗

#### トーキョー合戦 亀倉雄策

がデザインしたオリンピックの

ポスターは、日の丸に「TOKYO・一九六四」の文字を配した簡明鮮やかなもの。昭和三十九年が明ければ、オリンピック

にあやかり、ポスターに似せて繊維メーカーからチョウチン屋さんまで、すさまじい商魂を燃やして、TOKYO合戦を展開

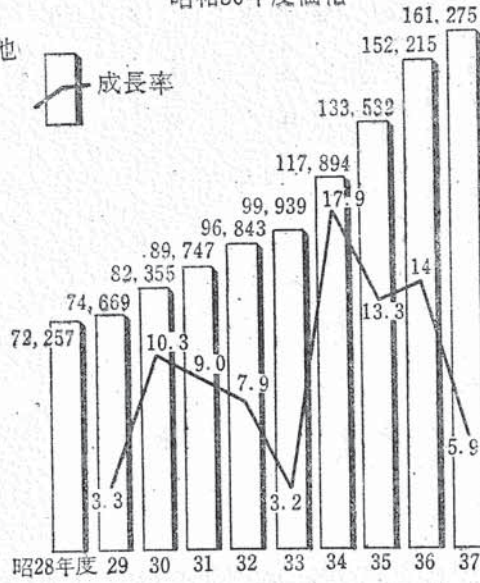
# 図解 経済白書



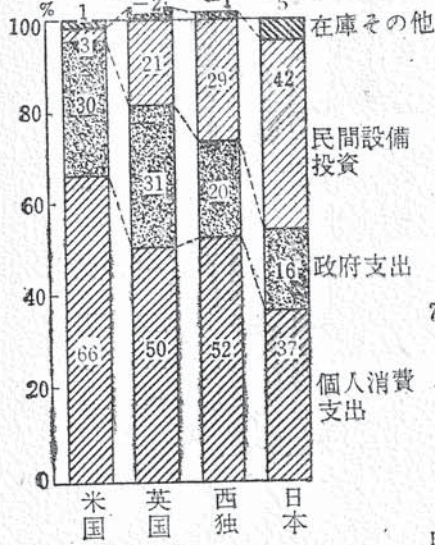
浅野 義光  
〔経済企画庁調査局長〕

昭和三十八年度の「経済白書」は「先進国への道」と副題して、三十八年七月に発表された。日本経済の国際比較を中心に、わが国経済が高度成長の結果、先進国へかなり追いついたものの、他面いろいろなひずみも目立つようになり、これを是正するためにはどうすればよいかを大きなテーマとしている。さらにわが国経済は現在景気回復の途をたどっているが、回復のテンポはゆるやかであるうし、またおだやかな上昇が望ましい、としている。ところでその後の景気回復のテンポは予想外に早く、国際収支の経常収支は大幅な赤字をだし、三十八年十二月には早くも引き締め政策へ転換せざるをえなくなった。ここでは、そうしたその後の推移を折り返みながら、白書の要点をできるだけわかりやすく図解した。

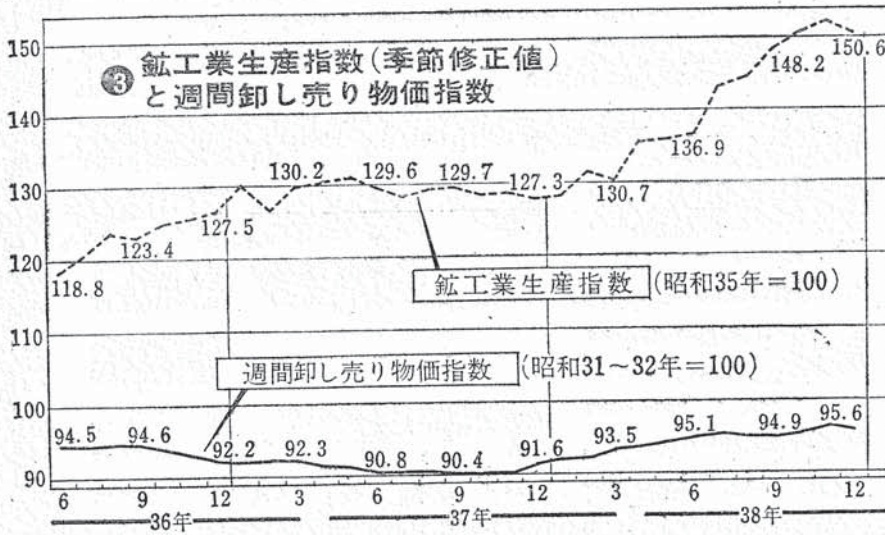
① 実質国民総生産 (単位億円)  
昭和30年度価格



② 国民総生産の成長に対する  
項目別寄与率 (1959~62年)



③ 鉱工業生産指数 (季節修正値)  
と週間卸し売り物価指数



## ① 実質国民総生産の推移

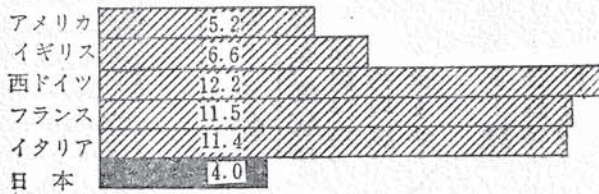
日本経済は戦後一貫して高い成長を維持し、昭和三十年頃に戦争による打撃からの復興を完了した後も、技術革新を軸とした民間設備投資を中心に高度成長をつづけてきた。三十一年から三十二年にかけては神武景気、三十四年頃には岩戸景気といわれる未曾有の好景気が現出し、特に三十四年以後の三年間は、実質成長率が一七・九%、一三・三%、一四・〇%にも達するほどの高度成長をとげ、国際的にも西独を抜いて世界第一位の成長率を誇っている。

## ② 国民総生産の成長に対する寄与率

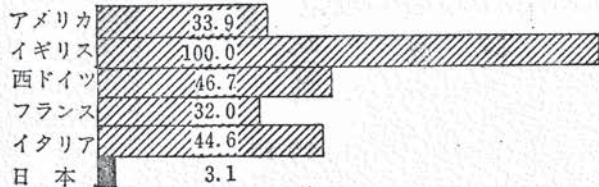
昭和三十年以後の日本経済の高度成長は、主として民間設備投資の強成長によるところが大きかった。このため国民総生産の中でも個人消費の占める割合は、欧米諸国に比べて低く、成長への寄与も民間設備投資の占める比率が大きい。しかし転型期といわれる今日、今後は、設備投資の増加に大きな期待を寄せすることはできない。今後の成長要因としては、欧米諸国と同じように個人消費支出や財

### ⑮ 社会施設・福祉水準の国際比較

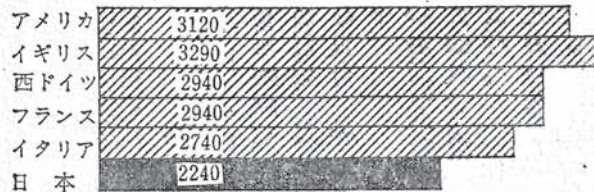
財政振替支出（国民総生産に占める比率%）



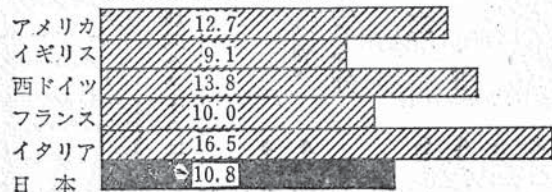
道路舗装率（%）



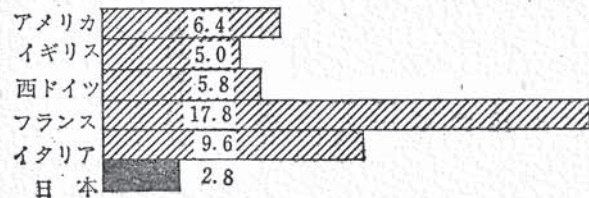
1人当たりカロリー摂取量（Cal）



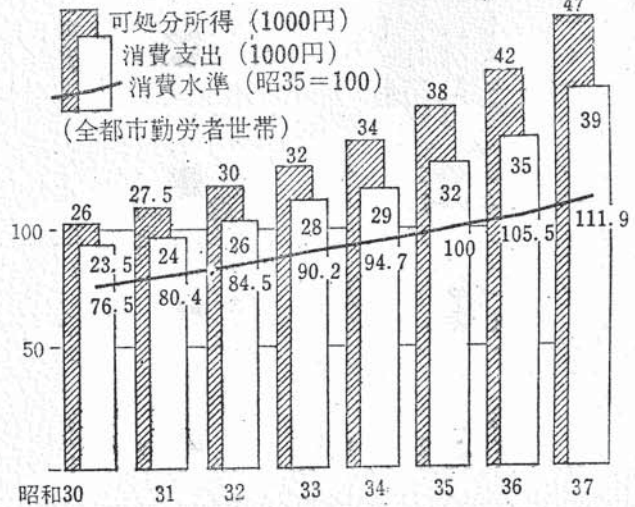
人口当たり医師数（10,000人当たり）



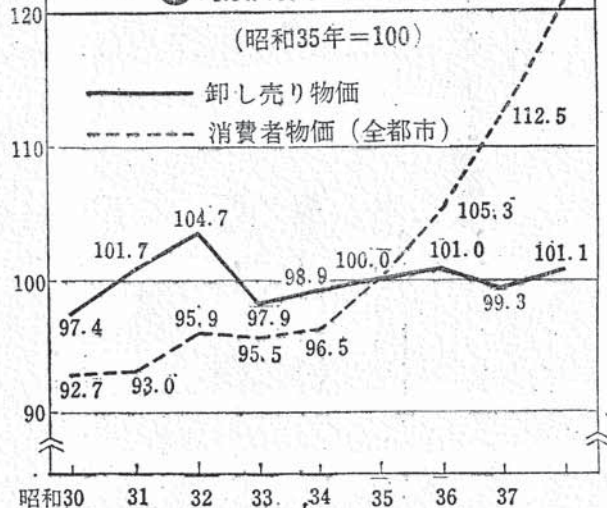
人口当たり初等学校数（10,000人当たり）



### ⑯ 消費水準の推移



### ⑰ 物価指数の推移



す一人当たり国民所得は四五ドルで二二位にすぎない。所得倍増計画では昭和四十五年に一人当たり国民所得が現在の西独程度になることを目標としている。

### ⑱ 個人消費の推移

昭和三十年から三十七年にかけて家計可処分所得は八割、消費支出は七割近くの増加をみせた。変動の激しい民間投資と比べて、個人消費は常に堅実に伸びてきたため、日本経済の景気調整過程では景気の落ちこみを軽くさせるなど、その果たしてきた役割は大きい。もつとも最近では消費者物価の上昇が激しいため、名目消費の伸びの割には実際の消費水準は伸びていない。

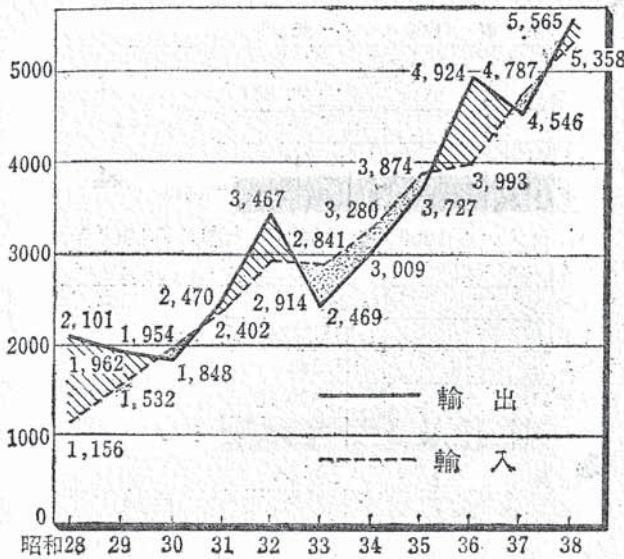
### ㉑ 物価の推移

最近の物価の特徴は卸売り物価が安定しているのに消費者物価が上昇していることである。卸売り物価は、長期的には比較的安定していた。これに対し消費者物価は、二重構造が解消の過程をたどる中で、昭和三十五年頃から上昇テンポを早め、三十五年には三・六%、三十六年には五・三%、三十七年には六・八%、三十八年には七・二%と年々上昇率が高くなっていく。

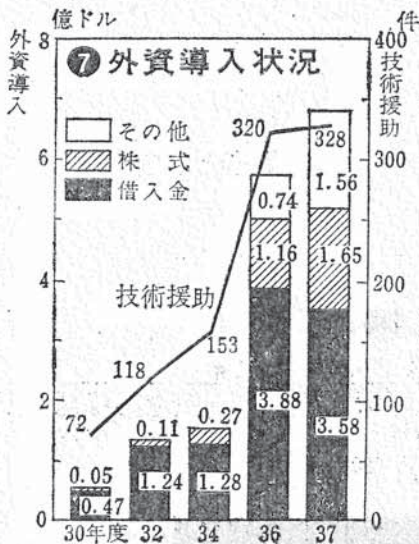
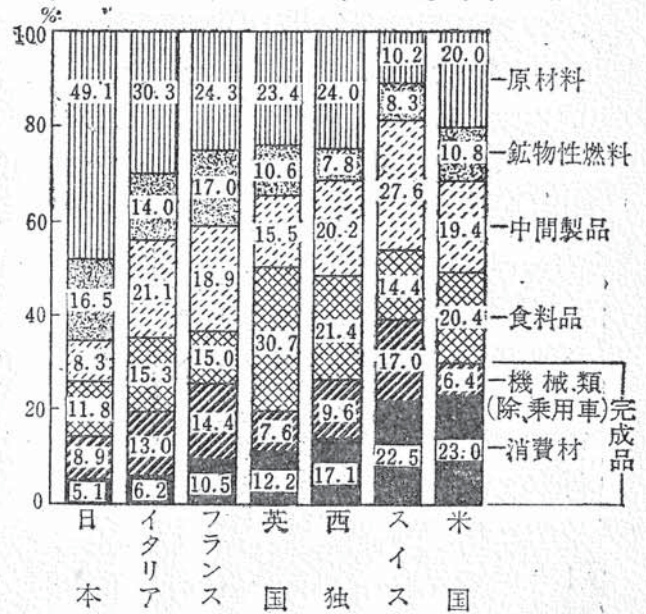
### ㉒ 福祉水準の立ち遅れ

日本経済はこれまで一日も早く先進国並みの経済規模に到達することを課題として成長を上げてきたが、今後の安定成長の時期にあつては、先進諸国からかなり立ち遅れている国民一人一人の福祉水準や社会施設の向上を配慮しつつ、均衡のとれた成長をはからなければならない。

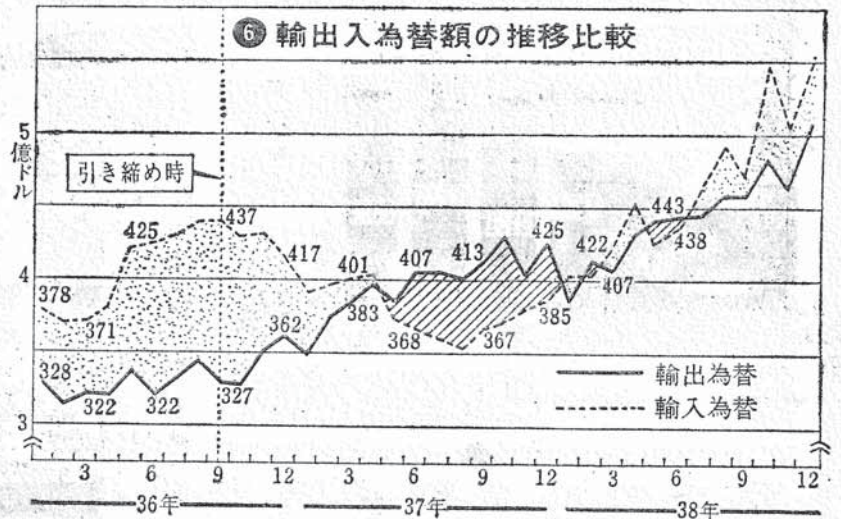
⑤ 貿易収支 (100万ドル)



④ 先進工業国の輸入商品構成 (1960年)



⑥ 輸出入為替額の推移比較



三十二年にはスエズ動乱にともなう思惑的な

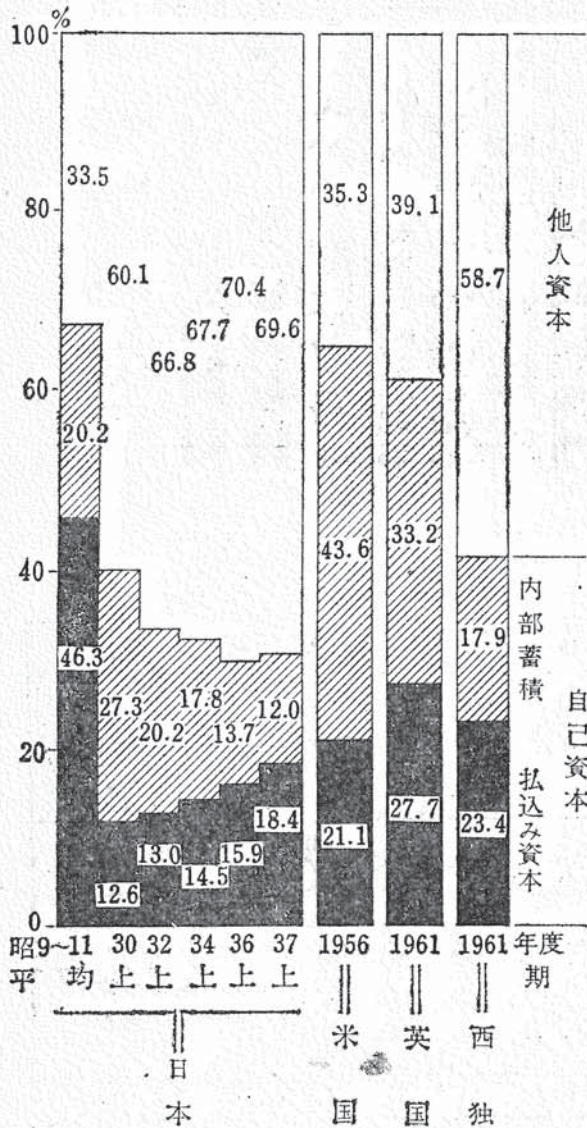
⑤ 貿易収支の推移  
わが国は国内資源にとほしく原材料の大部分を海外からの輸入にあおぐため、景気過熱から国際収支の天井にぶつかることが多く、金融引き締めによって景気後退を招くのである。昭和二十八年には消費需要の増大から、

④ 貿易構造の変化  
これまで、原材料輸入の比重が大きく、消費財、機械などの完成品の輸入が少なかった。しかし自由化を行なうことは、国際分業の利益を各国が享受することに意味があるから、日本でも次第に完成品輸入の比重が高まり、輸入依存度も上昇すると思われる。それにともない、輸出構造もこれまでの繊維、雑貨中心の輸出から、重化学工業製品の輸出を高めることが必要となろう。

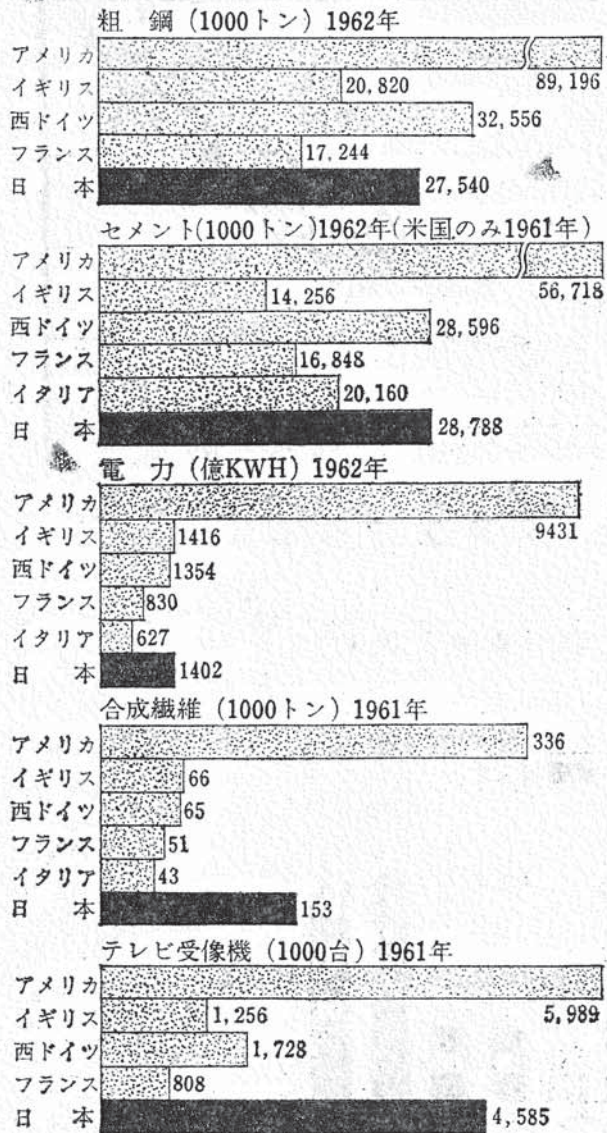
③ 景気調整と景気回復  
昭和三十六年九月に金融引き締めが開始され、景気調整に入った後も、鉱工業生産はしばらく上昇をつづけ、低下に転じた後も落ちこみは軽かった。いっぽう卸売り物価は、引き締めとともにすぐ低下したが、従来の引き締め期に比べれば下落幅は小さく、総じて景気調整は軽微にすんだといえる。そして三十七年十月に引き締めが解除された後には、生産も物価もかなり急テンポに上昇し、特に生産は十二月の底から三十八年十一月までに二〇%近い上昇をみせた。こうした生産の急上昇が国際収支の悪化を招き、引き締め解除後一年で再び引き締めを余儀なくさせている。

政、輸出の占める比重が高まってこよう。

⑨ 資本構成の推移と国際比較 (製造業)



⑩ 主要工業品の生産高国際比較



在庫投資や設備投資の増勢から、そして三十六年には設備投資の増大から、それぞれ大幅な貿易収支の赤字が生じ、金融引き締めが行なわれた。

⑥ 経常収支の悪化につづく

昭和三十七年十月に引き締め政策が解除されたが、鉱工業生産上昇にともなう原材料輸入の増大から、三十八年一月から早くも貿易収支は赤字を示す月が多くなり、これに貿易外収支の恒常的赤字が加わるため、三十八年秋からは総合収支でも赤字を示す月が多かった。かくして引き締め解除後一年余、三十八年十二月には再び引き締め政策に転換された。

⑦ 金融の国際化

これまで日本には、高金利をしたう短期資本が多く流入し、また、長期資本も借入れ(外貨ローン)を中心にかなり流入し、日本経済の発展に大きな影響を与えてきた。今後はこうした外資の間接投資ばかりでなく、合弁会社形式などによる直接投資も多くなると予想される。

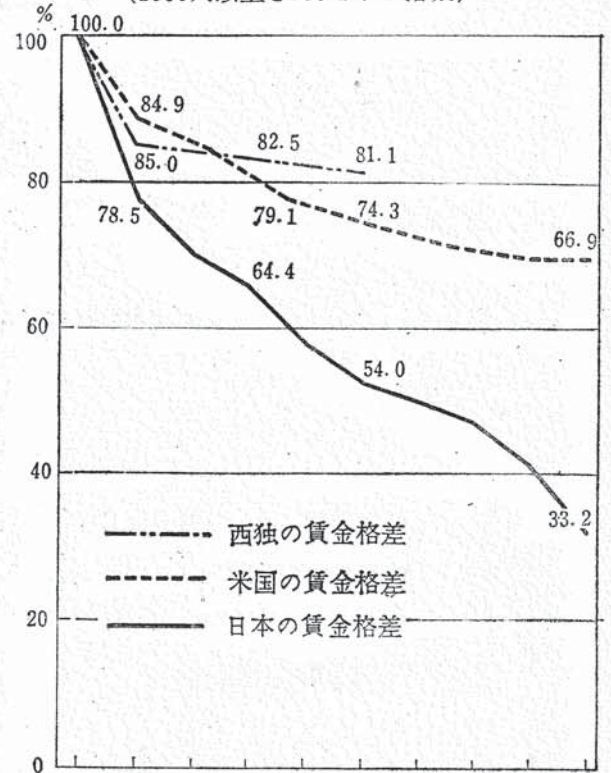
⑧ 工業生産の規模

昭和三十年以後の設備投資の急拡大による高成長の結果、主要工業の生産規模はすでに先進国並みの水準に到達した。共産圏を除いた諸国と比較すると、粗鋼生産では米国につき西独と肩を並べ、セメントは米国につき2位、発電量は米英につき3位となっている。また最近の技術革新の産物たるテレビや合成繊維の生産高は米国につき2位である。そのほか造船、カメラ、トランジスタ製品、オートバイなど世界一の生産を誇っているもの

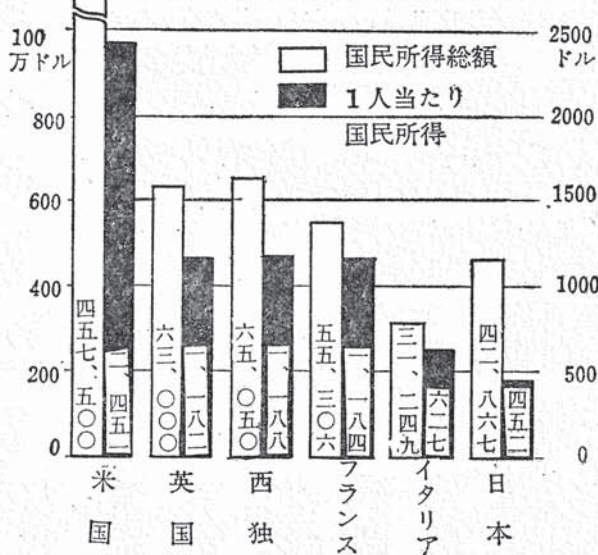
⑪ 1経営当たり平均農用地面積 (ヘクタール)

アメリカ	118	西ドイツ	8.1
イギリス	36.3	オランダ	7.4
フランス	17.2	イタリア	5
デンマーク	16	日本	1.2

⑩ 賃金格差の国際比較 (1000人以上を100とする指数)



⑫ 国民所得の国際比較 (1962年)



日本	1000人以上	500人以上	300人以上	200人以上	100人以上	50人以上	30人以上	20人以上	10人以上	4-9
米国	1000人以上	500人以上	250人以上	100人以上	50人以上	20人以上	10人以上	10人以上	10人以上	3-9
西独	1000人以上	500人以上	100人以上	50人以上	50人以上					

④ 企業経営の改善

昭和三十年以後の旺盛な設備投資は、自己資本ではまかないきれず、その多くを外部からの借り入れでまかなってきたため、自己資本比率は戦前と比較しても、また国際的にみても、かなり低い。開放体制への移行にあたって、日本産業界の国際競争力の質的強化をはかるためには、企業の体質改善、特に自己資本の充実が必要となろう。

⑩ 中小企業の近代化

高度成長にともなう労働力需給の逼迫から、賃金格差は次第に縮小をみせてきた。もともと、国際的には日本の賃金格差はいぜん大きく、さらに賃金の裏付けとなるべき生産性格差はいっそう大きい。今後は中小企業は資本装備率を高め、生産性を高めるように近代化、合理化を進めねばならない。

⑪ 農業の近代化

日本の農業は、昭和三十年頃までは工業部門に劣らない向上をとげてきたが、三十年後以後は次第に格差が拡大してきている。日本農業の発展を阻害している一つの要因は経営規模が小さいことで、国際的にみても日本の経営規模は極端に小さい。農業の近代化のためには、農地の流動化を通じて経営規模の拡大をはかる必要がある。

⑫ 国民所得

一国の経済規模を総体的にあらわす国民所得総額では、日本は第五位(共産圏諸国を除く)を占め、いわゆる大国並みの経済規模を有している。しかし国民の福祉水準をあらわ

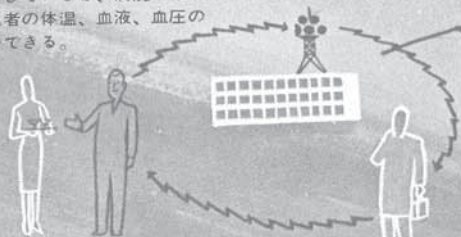


# 宇宙科学の日常生活への応用プラン

監修 工学博士 辻 二郎 画 中島昌作  
資料は"USISニュース"、"フォーチュン誌"による

## 通信装置・電子装置の応用⇨各種医学機器

① 遠隔診断 患者がタバコ箱大のトランスミッターを携帯している、病院ではFM受信機で、患者の体温、血液、血圧の動きをキャッチできる。



② 手掲げ病院 電子装置の超小型化はすでに目に見えない補聴器や留針の頭くらいの蓄電池を生み出した。やがて病院、診療所の全電気装置は医者のカバンの中に入るようになる。

## 太陽電池の応用⇨各種医学装置

① 心臓の鼓動調整装置の電源 太陽電池で発電された電力は水銀電池に貯えられ、

これは患者の体内に縫い込むことができるくらい超小型である。宇宙航空士の飛行時のショックをやわらげる鼓動調整装置の電源となる。

② 電子人工のど 米国ヘル電話会社は水銀電池で動く"人工のど"をつくった。声帯に代わってトランジスターが声をつくり出すもので、高音の婦人用、低音の男子用が製作されている。



## ジェット・エンジンの応用⇨超音速旅客機

数年以内に東京-サンフランシスコ間を3、4時間で飛行する。



## ロケットそのものの利用⇨郵便ロケット

米国ではすでに実験済みで、郵便を積んだロケットは数分後に機能を停止し、パラシュートで回収される。



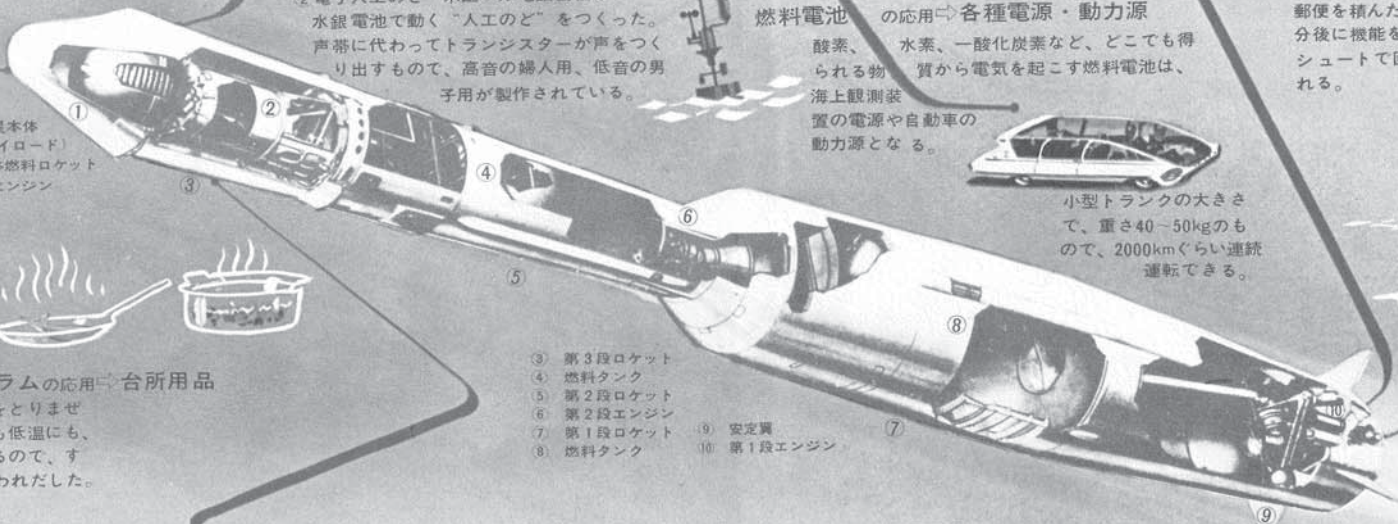
## 燃料電池の応用⇨各種電源・動力源

酸素、水素、一酸化炭素など、どこでも得られる物質から電気を起こす燃料電池は、海上観測装置の電源や自動車の動力源となる。



小型トランクの大きさで、重さ40-50kgのもので、2000kmくらい連続運転できる。

- ① 衛星本体 (ペイロード)
- ② 固体燃料ロケットとエンジン



## ロケットの先端・パイロセラムの応用⇨台所用品

プラスチック、ガラス、瀬戸物をとりまぜたようなパイロセラムは高温にも低温にも、そしてその急激な変化にも耐えるので、すでに鍋、ポットなどの材料に使われだした。



- ③ 第3段ロケット
- ④ 燃料タンク
- ⑤ 第2段ロケット
- ⑥ 第2段エンジン
- ⑦ 第1段ロケット
- ⑧ 燃料タンク
- ⑨ 安定翼
- ⑩ 第1段エンジン

## ロケット噴射火炎の応用

### ⇨搾岩工事用ロケット

噴射火炎は1000度以上の高温なので、これをドリルに応用すれば、これまで固かったような固い岩でも、たちまち穴をあけられる。



## 宇宙カプセルの回収パラシュートの応用

### ⇨インスタント・ハウス

回収パラシュートはステンレス・スチール・クロスを使得っており、化学薬品や高温に耐え、しかも折りたたみ、持ち運び自由なので、インスタント建築が可能となった。

1969年までの技術の進歩・予想表

	60年代初期	60年代中期	60年代後期	60年代後期で実現の見通しのつくもの
基礎科学	葉緑素を合成する	電波望遠鏡によって宇宙のはてを観測する	インシュリンを合成する	素粒子の包括的理論 生きた細胞の実験的 合成老年化のくわしい研究
発明・実験の成功	250億電子ボルト加速器完成 超高性能電子計算機の完成 人工心臓の動物の生存 外国語の機械ほんやく 人間の性をあらかじめ当る	地球の地殻内部を掘る	動物・植物に思いのままに突然変異を起こさせる	人間の頭脳に似た働きをする電子計算機 台風の制御
実用	電子電話交換機 電池つきポータブルテレビ 超音波血洗い機 燃料電池の応用 熱電気発生装置	超高性能電子計算機群 気象予報の進歩 家庭のパネル照明 放射線による不腐食料 V T O L 機	ガン・精神病・高血圧症治療が進歩する 高分子・セラミックス進歩 壁かけテレビ 自動車や道路の安全装置	ガンの治療 90日間の正確な天気予報 安価な海水からの真水製造
原子力	原子力商船 原子力航空機	1億度の核融合反応実現 平和利用核爆発の実験使用	原子力による直接発電	経済ベースの原子力発電 核融合反応の技術的解決
宇宙・航空技術	X15の飛行 月・火星・金星へ無人探観器 航海・気象衛星成功	人間が乗った人工衛星	人工衛星利用の通信 人間の乗る宇宙船	月へ人間が着陸 郵便・貨物ロケット